

芸術科（美術） 学習指導案

府立東住吉総合高等学校 教諭

1. 日 時 令和元年 11 月 26 日（火）第 5・6 時限 13 時 20 分～15 時 10 分

2. 場 所 美術室

3. 学年・教科 第 1 学年・美術 I

4. 単元（題材）名 「オリジナルストーリーの絵画を作ろう」

5. 単元（題材）の目標

- ・横に展開する絵画「絵巻物」を鑑賞し、画面の連続する絵画の魅力を知る。日本絵画の特質について理解を深める。
- ・グループでオリジナルストーリーを考えて、場面のつながった一枚の絵を協力して制作する。
- ・グループで 1 つの作品を制作することで協力して制作することで、互いの良さを知り、さらにそれを制作に反映させる。

6. 教材観

この単元は、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）「美術 I」の A 表現（1）絵画・彫刻 アとイ、B 鑑賞 ア（ア）とイ（イ）、〔共通事項〕に対応している。

生徒たちはこれまでに、色彩に関する知識や絵の具などの基本的な道具の使い方を学習した。主な作品としては、モダンテクニックのパネル作品がある。モダンテクニックで制作した自らの作品をバラバラにカットし再構築する方法で制作している。今回は、一つの作品を部分的に分担して制作、繋げた作品となる。前回の課題の発展とも言える。

絵巻物は平安から室町時代にかけて制作された日本独自の美術様式の一つで自らの両手で広げ少しずつ巻き取る、横長の連続画面に視点を移動させていくという特性がある。右から左へ配置することで時間空間の推移を表現することができる。このことは、現在のアニメーションや映像技術にも通じるものがある。またスクロール（scroll=巻物。巻く。紙の巻物を読む動作をさす。）という言葉にもあるように、コンピュータ、スマートフォンなどで使われる用語でもある。つながったものを自らの手で動かすという動きは、現代の高校生にも身近な動きであると考えられる。また、協力して制作することでアニメーション制作や映像作品制作などにも通じる。

今回は横に展開する絵画表現というところに絞った課題設定にした。また、より身近に考えてもらえるように、材料も画用紙、水彩絵の具とこれまでに使用したことのあるものにした。

また、絵画作品という視覚的媒体を通して、個人のビジョンが異なるということを知ることができ、よりわかりやすくそれを共有することができることが期待される。

7. 生徒観

（略）

8. 指導観

作品を作ることに對して苦手意識のある生徒が多いため、スモールステップで1つ1つできることを増やしていく。特に、必ずステップをやり遂げさせること、丁寧に制作させることに気を付けて課題設定を行う。また、全員ができる課題にする。最近では、作品に取り組む姿勢や発言などから少しずつ自己肯定感が上がったと感じられる場面も増えた。鑑賞の授業では、自ら作品について1分程度話し、また作品について他の生徒に良いと思うところを褒めさせる。絵を「上手」「下手」で判断するのではなく、それぞれの良いところ、他者の新たな視点などに着目させるように努める。

今回の課題では、協力して制作を進めることで自分と他者をより意識することになる。自己と他者を理解することは、自己肯定感を高めることにもつながることになると考える。

9. 単元（題材）の評価規準

a 美術への関心・意欲・態度	b 発想や構想の能力	c 創造的な技能	d 鑑賞の能力
①感じたことや考えたことをグループのメンバーに積極的に伝えようとしている。 ②日本の伝統的な美術表現や横に展開する絵画表現に関心を持ち、創意工夫しながら表現を追求している。 ③『信貴山縁起絵巻』やほかのグループの作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品などについて理解しようとしている。	自分のグループで決めたテーマから発想し、形、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。	技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現を工夫している。	『信貴山縁起絵巻』やほかのグループの作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。

*○必要に応じて評価する (指導に生かす評価)

◎全生徒を評価する (記録に残す評価)

10. 単元の指導と評価の計画 (全8時間)

時	学習内容	評価の観点*				主な評価規準・評価方法
		a	b	c	d	
第1・2時 (本時)	<p>○プロジェクターを使い絵巻物の表現を理解する 【全員】</p> <p>○グループでアイデアを出す 【グループ】</p> <p>○グループでストーリーを考える</p>	○	◎		◎	<p>【a-①】 感じたことや考えたことをグループのメンバーに積極的に伝えようとしている。(グループでの話し合いの様子を観察、紙にテーマを書いているか)</p> <p>【a-②】 日本の伝統的な美術表現や横に展開する絵画表現に関心を持ち、創意工夫しながら表現を追求している。(アイデアスケッチ)</p> <p>【a-③】 『信貴山縁起絵巻』の作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品などについて理解しようとしている。(ワークシートの記述内容)</p> <p>【b】 自分のグループで決めたテーマから発想し、形、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。(アイデアスケッチ)</p> <p>【d】 『信貴山縁起絵巻』の作品のよさや美しさ、表現の工夫や特徴を感じ取り、表現の特性を理解している。(ワークシートの記述内容)</p>
第3・4時	<p>○アイデアスケッチを確定する 【グループ】</p> <p>○パートを決めて制作する 【個人】</p>	○	○	◎		<p>【a-①】 感じたことや考えたことをグループのメンバーに積極的に伝えようとしている。(グループでの話し合いの様子を観察)</p> <p>【a-②】 テーマを意識し、創意工夫しながら表現を追求しようとしている。(グループでの話し合いの様子を観察、アイデアスケッチ)</p>
第5・6時	<p>○作品を合わせ進捗状況を確認する 【グループ】</p> <p>○自分のパートを制作する 【個人】</p>	○	○	◎		<p>【b】 自分のグループで決めたテーマから発想し、形、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。(アイデアスケッチ、作品)</p>
第7時	<p>○作品をつなぐ 【グループ】</p> <p>○調整しながら加筆する</p> <p>○完成したものを撮影する</p>	○	○	◎		<p>【c】 技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現を工夫している。(作品)</p>
第8時	<p>○鑑賞 【グループ・全員】</p> <p>○班ごとに発表する。細かい場所はあらかじめ撮っておいた写真をプロジェクターでみせる。</p> <p>○ワークシートにまとめを記入</p>	◎			◎	<p>【a-①】 感じたことや考えたことをグループで意見交換しながらまとめ、積極的に伝えようとしている。(グループでの話し合いの様子や発表の様子を観察)</p> <p>【a-③】 ほかのグループの作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫などに関心を持ち、作品</p>

					などについて理解しようとしている。(ワークシートの記述内容) 【d】作品のよさや美しさ、表現の意図や工夫を感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えを持つことができる。(ワークシートの記述内容)
--	--	--	--	--	---

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

絵巻物を見て絵巻物の表現を理解し、それを踏まえたオリジナルの作品のアイデアを出す。
他者と協力して一つの絵巻物にふさわしいストーリーにつながるアイデアを出す。

(2) 本時の評価規準

- ・横に展開する絵画表現の特性を理解する。
- ・自分のアイデアをグループのメンバーに伝えることができる。
- ・他者のアイデアを聞いて新たなアイデアを出すことができる。

(3) 本時の準備物

参考作品、プロジェクター、紙、筆記用具

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○今回の課題の内容説明 「グループで1枚のオリジナルストーリーの絵を作る」 ○本時の目標 ①絵巻物を見て横に展開する絵画の表現を理解する ②グループで協力して一つのストーリーを考える 		
展開 80分	<ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクターを使って『鳥獣戯画』『信貴山縁起絵巻』を鑑賞する ○絵巻物の表現の特徴を考える 見たことある？どのような形？などの問いかけ ○横に展開する絵画の特性を理解する 「時間が表現しやすい」「横のつながりが表現しやすい」「ストーリーが表しやすい」 ○今回の作品の条件を確認する ○グループで自分たちの絵巻物のテーマ、主人公、ストーリーを考える ①「テーマ」紙片に自らのアイデアを書き箱に入れる ②箱から紙片を出しグループでテーマを決める 	<ul style="list-style-type: none"> ○ここでは、美術史的な意味での絵巻物についての説明は詳しく行わず、あくまで横に展開する絵画として鑑賞させる ○ワークシートに絵巻物の特徴などをまとめて記入する ○自分の意見を伝えることに躊躇がある生徒が多いので紙に書き、箱に入れるという方法で意見を出しやすくする。 <p>★：理解の不十分な生徒への手</p>	<p>グループでの話し合いの様子から評価する【a-①】（観察）</p> <p>【a-③、d】（観察、ワークシートの記述内容）</p> <p>紙にテーマなどを書いているか【a-①】（観察）</p>

	③同様に「主人公」「おおまかなストーリー」も決める ○個人でアイデアスケッチを描く	立て 《机間指導》 ○アイデアスケッチが間に合わなかった場合は宿題にする	【a-②、b】 (ワークシートの記述内容、アイデアスケッチ)
まとめ 10分	○ワークシートに記入する ○学習を振り返る。	○ワークシートに今日の学びを記入する	

評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 指導の手立て
【a】	感じたことや考えたことをグループのメンバーに伝えようとしている。伝統的な美術表現に関心を持ち、創意工夫しながら表現を追求している。作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心をもち、作品を理解しようとしている。	感じたことや考えたことを紙に書いて伝えることができる。日本の美術表現に関心を持つことができる。作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持つことができる。	机間指導を行い、話が進んでいなかったり、手順が理解できていないグループを支援する。
【b】	自分のグループで決めたテーマから発想し、形、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。	自分のグループで決めたテーマから形、色彩、構成などを考え、表現の構想を練っている。	机間指導を行い、アイデアスケッチの描き方をアドバイスする。
【d】	作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどをもち、理解している。	ワークシートに絵巻物の特性をまとめたり、考えたことや感じたことなどを記入することができる。	机間指導を行い、ワークシートの記入の仕方を示す。